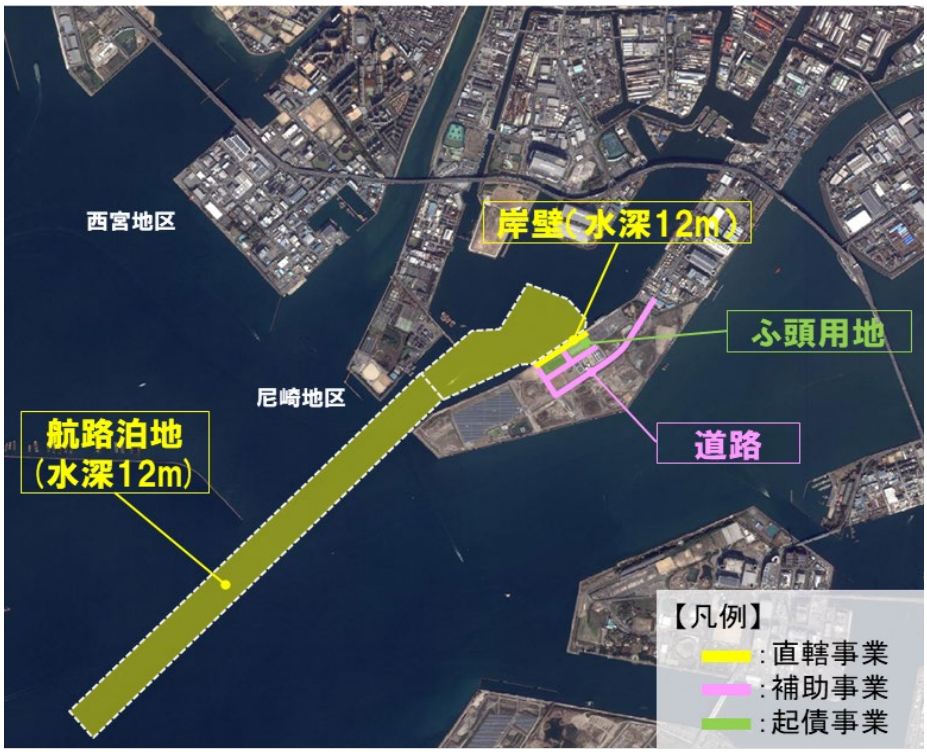
# 尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業
## ～物流効率化及び安全・安心の確保～

| | |
|---|---|
| 整備施設 | 岸壁(水深12m)<br>航路泊地(水深12m)<br>道路<br>ふ頭用地 |
| 事業期間 | 平成元(1989)年度<br>～<br>令和2(2020)年度 |
| 事業費 | 200億円 |

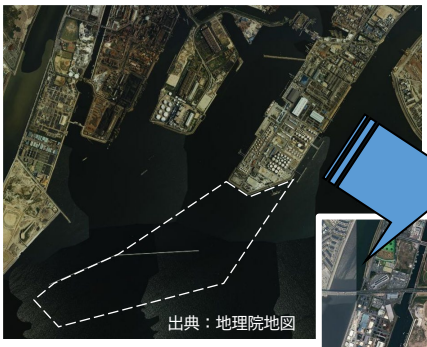



## 事業の効果

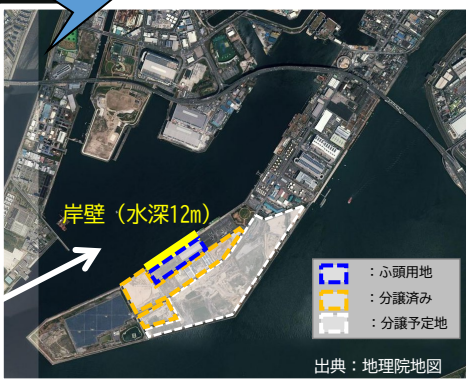
■本事業で整備した岸壁等の供用開始後、**取扱貨物量が増大した。**

■尼崎西宮芦屋港尼崎地区において、**大規模地震発生時における緊急物資輸送などの対応が可能となった。**

事業実施前（平成元年頃）

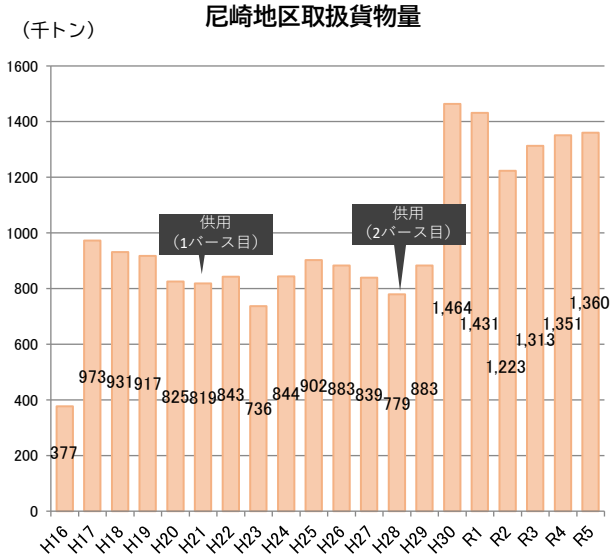



現在（令和７年）



岸壁（水深12m）の利用状況

尼崎地区取扱貨物量




■利用者からの声

・尼崎西宮芦屋港は全国で製造される製品の海上輸送拠点であり、**物流効率化により競争力強化**に繋がっている。
・陸上輸送から海上輸送に転換するモーダルシフトにより**CO2排出量削減と労働力不足の解消に寄与**している。
・関西全域をカバーできる尼崎西宮芦屋港は、東西の広域配送の入出荷拠点として非常に地の利があるため、岸壁整備のタイミングで背後地に倉庫を移転した。